

わ げん あい ご 和 顔 愛 語

西法寺だより No.5 令和3年4月発行

ごあいさつ

おぼろづきよ
朧月夜の美しい頃となりましたが、コロナウイルスも第4波の兆しがあり、
なかなか気をやすめられない日々が続きます。

今年度より新たな総代・女性世話人・仏教婦人会の方々のご協力により、
コロナウイルス感染症対策を行いながら西法寺の行事・法要を執り行^とってまい
ります。本年も新たに納骨堂勤行や行事などに取り組んでまいりますので、
皆さま方のご協力・ご参拝よろしくお願ひ申し上げます。

仏教の
ことば

げん ちよう じ し め き みみ み
眼 聴 耳 視 ～ 眼で聴き耳で視る～

「眼で聴き、耳で視る」〈真実をみるために眼で聴いて、耳で視なさい〉
という言葉があります。

眼で聴くとは「眼で見ているものの語りかけを聴く」、耳で視るとは「聞こえ
てくるもので情景を描く」ということです。

新型コロナウイルスも、目には見えませんが感染者の数は聞こえてきます。
高砂に住む私どもには身近に感染した人もなく、その状況は目にも耳にも入っ
てきていません。そんな中で、テレビから病院の状況を「聴く」「視る」ことにより
「私が感染するかも。感染しているかも。」「両親が感染するかも。」「祖父母が
感染するかも。」と頭に描き、様々な状況や先には『死』をイメージし正面から
向き合うことができます。

「眼で聴き、耳で視る」という表現には言葉を超えたメッセージ、声なき声を受
け取ろうとする「他を思うところ」があります。

浄土真宗では、「他を思うところ」は阿弥陀さまの「我に任せよ、必ず救う」と
いう仏心（ほとけごころ）であり、私たちは阿弥陀さまにすべてをお任せするば
かりであります。

※【視る】…より注意して視線を注ぐ・【聴く】…より注意して耳を傾ける

浄土真宗のおはなし

ぶ っ か 仏 花

仏教の故郷インドでは、花はお盆のような器に盛って仏前に供えたり、花環はなわの形にして賓客ひんきゃくの首にかけたりします。花瓶に色花を立てて仏前に供えるのは、中国では宋の時代、我が国では室町時代（浄土真宗では第三代覚如上人かくによしょうにん）からのようで、それ以前は我が国では仏花といえは櫛しきみでした。

仏花の立て方は、立華りっかの作法にのっとり「真」「正真」その他の役枝やくえだに新しい花を添えるのが正式です。通常は花の部分が高さの1～1.5倍、真を含めた高さが花瓶の2～3倍程度の高さになるように立てます。

花瓶には水を入れないのが立華の原則ですが、水を入れる場合はできれば毎日新しい水を取りかえましょう。水が古いと花もかれやすく悪臭を発します。

仏花は通常、毎月5～6回立てかえますが、折節には必ず立てかえて仏前を飾りましょう。

仏様に供えるのになぜ仏様の方を向けないのかと云えば、仏花をも含めて本堂や仏壇は、お浄土の姿を表すものですから、出来るだけ美しく見えるようにこちら向きに供えるのです。



※写真は本願寺の御正忌報恩講法要の仏花です。
（左：1月9日～12日・右：1月12日～16日）
右の仏花には約1500本もの水仙が生けられ、
その本数から仏花の大きさが窺えます。

佛の国の衆生は
毎朝器にさまざまな花を盛り
他方十萬億の世界の佛を供養する

『佛説阿弥陀經』より

行事報告

報恩講法要

11月12日(木)夜座、13日(金)昼座と、例年より短縮でお勤めし、Facebookにてライブ配信も行いました。

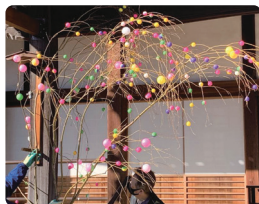
ご法話はたつの市源徳寺の窪田憲龍師をお迎えしました。



西法寺もちつき



もちつきは中止いたしました。が、仏教壮年会の皆様により餅花作りをしていただき、さんもん どのい しょうろう山門、向拝、鐘楼を飾っていただきました。



折りに触れ寂しさを感じるこの多い状況ですが、おかげさまで華やかな気持ちで新年を迎えることができました。

除夜の鐘

除夜の鐘も感染防止対策をとりながら皆さまにお越しいた^がんたんえ_えいただき、元旦会もお勤めいたしました。



ご多忙の中、また落ち着かない状況下にも関わらず各法要・行事にご協力いただき誠にありがとうございました。

令和3年度 行事予定

- | | | | | | |
|--------|----------|--------|---------|-----------|--------|
| ◆常例法座 | 4月13日(火) | 19時30分 | ◆報恩講法要 | 11月12日(金) | 19時 |
| ◆永代経法要 | 5月13日(木) | 14時00分 | | 11月13日(土) | 10時30分 |
| ◆常例法座 | 6月13日(日) | 19時30分 | | | 13時30分 |
| ◆常例法座 | 7月13日(火) | 19時30分 | | | 15時 |
| ◆盆会 | 8月18日(水) | 19時30分 | ◆常例法座 | 12月13日(月) | 19時30分 |
| ◆秋季彼岸会 | 9月22日(水) | 19時30分 | ◆除夜会 | 12月31日(金) | 23時45分 |
| | | | ◆門信徒新年会 | 1月13日(木) | 11時30分 |
| | | | ◆春季彼岸会 | 3月22日(火) | 19時30分 |

※新型コロナウイルスの動向で予定が変更になる場合がありますのでご了承ください。

真宗文化研究会25周年記念『^{ががく}雅楽^{しょうみょう}と^{しら}聲明の調べ』

昨年より延期しておりました真宗文化研究会25周年記念『雅楽と聲明の調べ』を3月31日に姫路市文化センターで開催いたしました。多くの皆様にお越しいただき心より感謝申し上げます。

場を美しく整え(莊嚴^{しょうごん})、身をきれいに着飾り(法衣^{ほうえ})、美しい音色(雅楽)、仏さまを讃える言葉(聲明)で『散華^{さんげ}(花びらを^ま撒いて仏さまを迎える)』をし、華やかな法要を皆さまにご披露させていただきました。

雅楽演奏では伝統的な雅楽の「平調音取」「越殿楽」、そしてオルガンを採り入れた童謡の『朧月夜^{おぼろづきよ}』、中島みゆきさんの『糸^{いと}』もご披露させていただきました。

4年後に30周年も計画しておりますので、よろしく願いいたします。



臥龍山 西法寺

〒671-0122 兵庫県高砂市北浜町北脇110
TEL 079-254-3777 FAX 079-254-4588
<https://saihouji.localinfo.jp/>